

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中の部

令和三年度七月 入賞句一覽

投句数 千六百四十八句



特選

説田 祐子 選

スパイクをさらにみがいて炎天下

大垣市

清水 敦生(小六)

炎天下の暑い暑い夏の日、作者はスパイクをはいて、陸上競技の練習でしようか。それとも試合があるのでしょうか。そのために一少しくも速く走れるように「がんばれるように」と心を込めてスパイクを磨いているのですね。その様子・気持ち「さらに」の言葉でより伝わってきます。

ながればしねがいひとつホームラン

大垣市

大西 ま羽(小二)

夏の夜は、夕涼みがてらに、戸外に出て、星空を見ることが多いですね。そんな時、「流れ星」が見れたのですね。「流れ星に願いをかけると願いが叶う」という言い伝えを聞いたことがあります。私も願いをかけたことがあります。流れ星に限らず、「願い」をもつことは大切なことです。この俳句を読んだ人も、この俳句の作者が「ホームラン打てますように」と、願うでしよう。きつと。

弟がいつしよに歌う風鈴と

大垣市

外花 瑠彩(小五)

暑い夏の午後でしようか。風鈴が吊るしてある軒の近くでのごとでしようか。弟さんが風鈴の音に合わせて、何か歌を歌っていたのですね。「ゲーム」や「テレビ」が好きなお子が多い中で、こんな一時を過ごせることつて素晴らしいことです。そして、そんな弟の様子を目に止めて「俳句」にしたお姉さんも素晴らしいことです。仲の良い姉弟であることも伝わってくる俳句です。

秀逸

夏の朝アラム代わりのセミの声

加茂郡川辺町

岩田 壮臣(中二)

もやいぶね夏の鯉たちかくれんぼ

大垣市

伊藤 葵(小六)

登下校カエルの合唱聞きながら

大垣市

廣瀬 美貴子(小六)

紫陽花が風と一緒におどってる

大垣市

小川 紗槻(小六)

さかあがりれんぞくできたなつのそら

大垣市

ふくた りくと(小二)

かぶと虫今年も会えたよろしくね

大垣市

高橋 結愛(小三)

カプトムシクワガタムシとバトルだね

大垣市

坂 こうき(小四)

風ふけば流れるメロデーふうりんだ

大垣市

山岸 愛佳(小五)

サンガラスいつもとちがうパパのかお

大垣市

近藤 結恵華(小二)

あめんぼがにんじやみたいだみずのうえ

大垣市

吉國 良(小二)

入選

あじさいに水の光がはじけ散る

加茂郡川辺町

今井 愛子(中二)

あじさいが雨もいよいよと笑ってる

加茂郡川辺町

藤井 俊輔(中一)

花火はねおじいちゃんとの思い出だ

加茂郡川辺町

佐伯 美月葵(中二)

なつこだちみんななかよくゆれている

大垣市

山田 菜々美(小六)

あじさいは雨のしずくとしゃべってる

埼玉県志木市

溝口 日向子(小五)

さくらんぼ双子みたいに遊んでる

埼玉県志木市

何 熙媛(小五)

アジサイが光って見える雨ふって

埼玉県志木市

清水 一花(小五)

芭蕉像夏の空みてうれしそう

大垣市

水谷 隆一郎(小六)

川岸に青葉にかくれた川灯台

大垣市

末永 幸也(小六)

がく紫陽花子供を守る親のよう

大垣市

水谷 優日(小六)

ひまわりおおきくさいたじやんぷする

大垣市

むらかみ だいや(小二)

ぼくのせとあさがおのつるくらべっこ

大垣市

つちや こうた(小二)

ひまわりがかぜにつられておどってる

大垣市

仙石 羽花(小三)

いらいらが花火とともにきえ去った

大垣市

加藤 遙馬(小五)

雨の日のかたつむりさんたのしそう

大垣市

静 怜奈(小二)

ありさんが食べ物はおぼおもたそう

大垣市

大橋 万葉(小三)

風鈴が風につっておどってる

大垣市

松本 樹奈(小五)

梅雨明ける蜘蛛の巣きらりひかっている

大垣市

大橋 一路(小五)

教科書のページをめくる扇風機

大垣市

林 心楽(小六)

向日葵が追いかけてくる背の高さ

大垣市

松村 結愛(小六)

選者吟

青田道赤青黄のランドセル

祐子



小中の部